

# IR REPORT 2013

第66期 年次報告書

平成24年3月1日から平成25年2月28日まで

株式会社 **チヨダ**



Chiyoda

証券コード 8185



代表取締役社長

舟橋 浩司

株主の皆様には、  
日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループの第66期(平成24年3月1日から平成25年2月28日まで)年次報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社では、このたび舟橋 政男が代表取締役会長に就任し、後任として私が社長に就任することになりました。微力ながら、社業のさらなる発展のために専心努力いたす所存でございますので、何卒格別のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

 当期の概況  
Review of Operations

当連結会計年度における我が国の経済は、欧州の債務危機問題や新興国の景気後退などにより、円高、株安基調が続きましたが、年末に発足した新政権による大胆な金融緩和策や景気回復に向けた政策から、円安、株高基調が現れ、デフレ脱却と景気回復の期待が高まっております。しかしながら、これらの政策効果が雇用不安の解消、可処分所得の増大、個人消費の喚起を促すにはなお時間がかかると見られ、当社グループが属する内需依存型産業の小売業界においては、デフレ環境からの脱却には依然として懐疑的な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループの売上高は、一昨年の東日本大震災に伴って3月の売上を大きく落としたこともあり、当第1四半期連結会計期間は前年同期と比較して大きく上回って推移いたしました。下半期には、10月下旬より気温低下が顕著になり秋冬商品の需要が活発となりましたが、それまでは残暑が長引いたことで秋冬の立ち上がり商戦が苦戦を強いられました。また11月以降は降雪が例年になく早く、年明けには冬物商品の需要枯れが発生したことや、降雪が東日本に偏ったこと、前期の復興需要に対する反動も起因し、当連結会計年度は減収となりました。

収益面におきましては、PB(プライベートブランド)戦略の推進による粗利益率の向上、販管費の抑制、慎重な出店戦略の推進、都心出店の挑戦、不採算店の退店等に取り組んでまいりました。この結果、当連結会計年度の営業利益は、靴事業・衣料品事業ともに前年同期と比較して大幅な増益を確保いたしました。

当連結会計年度末の当社グループの店舗数は、靴事業1,143店(前年同期比4店増)、衣料品事業476店(同6店減)の合計1,619店(同2店減)となりました。

当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高150,323百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益12,316百万円(同14.8%増)、経常利益13,108百万円(同15.6%増)、当期純利益7,151百万円(同47.8%増)となりました。



左から シュープラザ新宿東口駅前店、シュープラザ吉祥寺店、シュープラザ上野店、東京靴流通センター上野松坂屋店、靴子ヨダ八重洲地下街店

セグメント別の業績の概要は次のとおりであります。

 靴事業

当連結会計年度における靴事業の売上高は、一昨年の東日本大震災による大幅な減収の反動に伴い当第1四半期連結会計期間は増収になったものの、以降、復興需要による増収の反動と天候不順等による個人消費の低迷により減収となりました。

商品面におきましては、紳士靴部門は防水・防滑・高機能のハイドロテックシリーズの「ハイドロテック・ブラックコレクション」が堅調に推移したほか、ドレスタイプの「ハイドロテック・涼風爽快」が好調に売上を伸ばしました。また、若年層をターゲットとしているスニーカー感覚の洗えるトラッド「セダークレスト ウォッシュャブル」が男女とも堅調に推移しました。紳士カジュアル靴部門においては、「バイオフィッター・フォーメン」シリーズの売れ行きが好調だったほか、若年層向けに、この秋ローンチした「TEXACO(テキサコ)」が好評を得ました。婦人靴部門はバイオフィッターシリーズの「バイオフィッター・レディース」「バイオフィッター・ウォーキング」が堅調に推移しました。また、「セダークレスト オレンジスター」、「FIORUCCI(フィオルッチ)」、「Zipper(ジッパー)」が好調に推移しました。スニーカー部門は、マーケティング本部企画広告グループによるPB・NPB(ナショナルプライベートブランド)の「若年層浸透戦略」により、「セダークレスト」、「Op(オーシャンパシフィック)」が好調に推移しました。さらに、前期よりマーケティング本部全国販促グループが中心となり定期的を実施してまいりました「高品質・低価格」の統一

販促「990プロジェクト」「1990プロジェクト」等がTVに取り上げられるなど、話題と支持を集めました。また、若年層の顧客化を目的とした女性ファッションマガジン「Shutte(シュッテ)」を春と秋に発行して当社商品のイメージアップを図るとともに、同ネームの婦人靴をこの秋冬から販売し大変好評を得ました。この結果、PB及びNPB等のシェアは前年同期と比較して4ポイント増の約36%となりました。

粗利益率は、催事毎に管理を強化し低粗利商品の投入の抑制及びPB・NPB商品のシェア増加等により、前年同期と比較して上昇いたしました。経費面では、シュープラザ上野店を開店させるなど9月以降関東地区中心に出店を計画より増加させましたが、経費コントロールに注力したことや不採算店の退店等による店舗数減少に伴う管理費減少効果もあり、前年同期比微減の計画通りの着地となりました。この結果、当連結会計年度の靴事業の営業利益は増益となりました。

当連結会計年度の出退店は、東京靴流通センターを中心として出店39店、退店35店を実施し、当連結会計年度末店舗数は1,143店(前年同期比4店増)となりました。

この結果、売上高は111,664百万円(前年同期比1.7%減)となりました。

## 衣料品事業

当連結会計年度における衣料品事業の売上高は、一昨年の東日本大震災の大幅な減収の反動により当第1四半期連結会計期間は前年同期と比較して増収となりましたが、不採算店の退店等による店舗数の減少と天候不順による個人消費の低迷により減収となりました。

商品面におきましては、お客様のニーズに応える様々な機能を付加したPB商品を開発、販売いたしました。特に、化粧品などに配合されるナノプラチナコロイドを付着させ抗菌・防臭・清潔が持続する「ナノプラチナデニム」が好調に推移しました。また、商品展開を従来のインナーからアウターや小物などにも展開を拡大し、あたたか機能を付加した「マックヒート」、9月から全国での展開を本格化した「リークーパー」が順調に推移しました。加えて、11月にローンチした「魔法の美脚」



## 会社の対処すべき課題

日本経済は、近年、円高、資源高、デフレの恒常化に苦しめられ、社会的には雇用不安、少子高齢化、格差拡大、年金問題等、極めて困難な課題を抱えつつ成長の道筋が見えない状況で推移してまいりました。昨年末の政権交代に伴い大胆な金融緩和策など景気対策への期待感が高まってまいりましたが、消費税の増税が具体化されて、一般消費財を販売する小売業としては、厳しい先行きを予測せざるを得ません。

当社グループとしましては、かかる逆風のなかにあっては、いたづらな売上規模拡大よりも利益の確保、利益の成長こそ

はストレッチ素材のジーンズとして、はきやすさと保温性からお客様の好評を博しております。販売促進活動におきましては、フリーマガジン「NANA style」発行(10万部)による着こなしの提案やTVCMの継続を行うとともに、モバイル会員向けの機動的な情報発信や、毎月15・16日「シルバーデー」の実施など多面的な施策を行い、客層拡大に努めました。

粗利益率は、商品回転率の向上による鮮度アップにより前年同期と比較して2ポイント改善しました。また、経費面で販管費の戦略的なコントロールに注力した結果、当連結会計年度の衣料品事業は増益となりました。

当連結会計年度の出退店は、出店21店、退店27店を実施し、当連結会計年度末店舗数は476店(前年同期比6店減)となりました。

この結果、売上高は38,658百万円(前年同期比4.4%減)となりました。

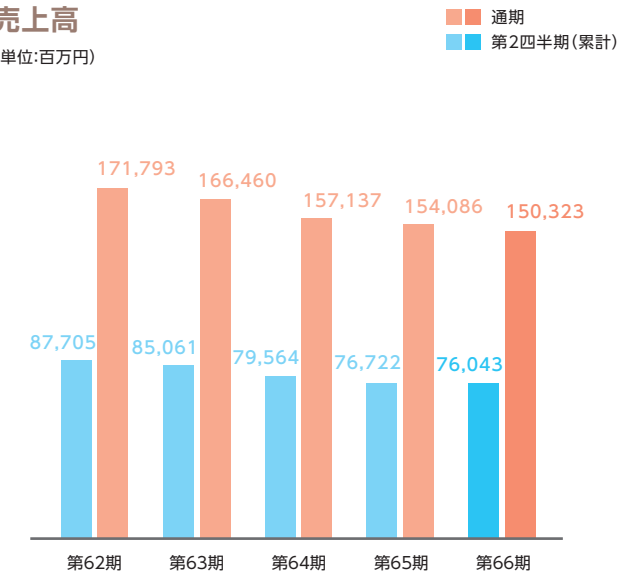
が第一と位置づけるべきと認識しております。ビジネスモデルの改革は未だ途中ではありますが、既存店売上の活性化、粗利益率の飛躍的な改善、経費コントロールの合理化、店舗オペレーションの効率化、成功率の高い新規出店、不採算店舗の退店等で、少なからずその効果が顕現しつつあります。今後は、それらの改革の加速が課題となりますが、前進を恐れず、後ろを振り向かず、未来に挑戦してまいります。

どうか、今後とも株主の皆様の一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 連結業績の推移

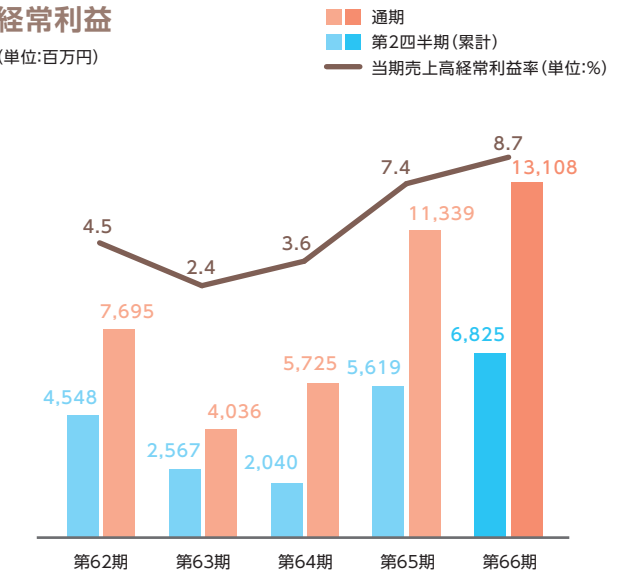
### 売上高

(単位:百万円)



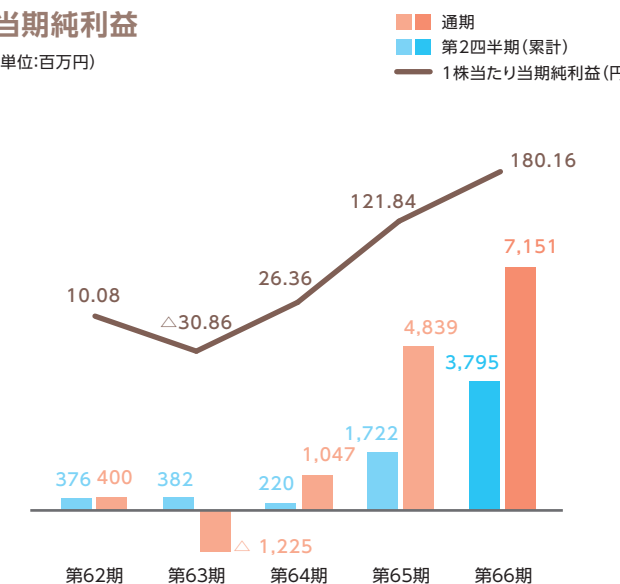
### 経常利益

(単位:百万円)



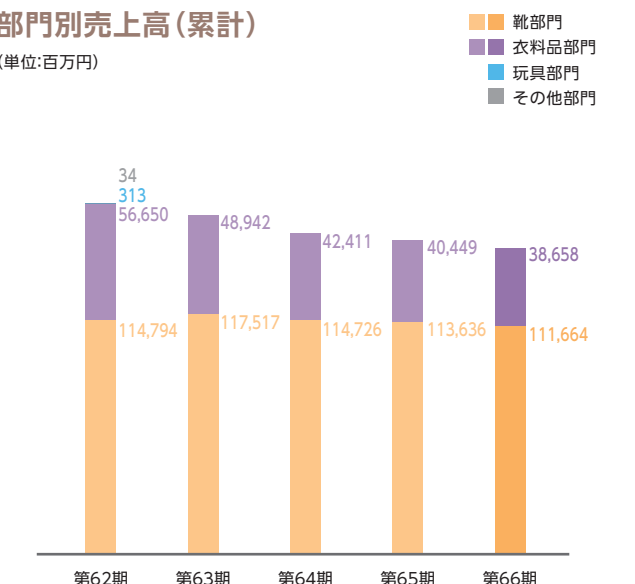
### 当期純利益

(単位:百万円)



### 部門別売上高(累計)

(単位:百万円)



**連結貸借対照表**

科目	当期	前期
	(平成25年2月28日現在)	(平成24年2月29日現在)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>86,594</b>	<b>80,001</b>
現金及び預金	55,013	47,024
受取手形及び売掛金	1,803	1,933
商品	27,419	28,235
前払費用	1,329	1,380
繰延税金資産	828	1,081
その他	213	362
貸倒引当金	△ 13	△ 16
<b>固定資産</b>	<b>46,274</b>	<b>46,755</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>10,308</b>	<b>8,987</b>
建物及び構築物	4,886	4,762
機械装置及び運搬具	5	3
工具、器具及び備品	525	500
土地	4,352	3,242
リース資産	477	475
その他	61	2
<b>無形固定資産</b>	<b>3,633</b>	<b>3,685</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>32,331</b>	<b>34,082</b>
投資有価証券	5,653	9,485
長期預金	3,500	500
敷金及び保証金	18,354	19,710
繰延税金資産	3,863	3,561
その他	1,086	977
貸倒引当金	△ 126	△ 153
<b>資産合計</b>	<b>132,868</b>	<b>126,756</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	(平成25年2月28日現在)	(平成24年2月29日現在)
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>39,102</b>	<b>39,049</b>
支払手形及び買掛金	25,569	25,299
ファクタリング債務	2,810	3,166
短期借入金	740	740
1年内返済予定の長期借入金	977	1,046
リース債務	238	196
未払費用	2,662	2,756
未払法人税等	3,577	2,831
未払消費税等	325	498
賞与引当金	605	611
店舗閉鎖損失引当金	52	187
リース資産減損勘定	267	477
資産除去債務	24	26
その他	1,250	1,211
<b>固定負債</b>	<b>15,107</b>	<b>14,988</b>
長期借入金	1,619	1,592
リース債務	321	390
繰延税金負債	40	40
退職給付引当金	8,582	7,851
役員退職慰労引当金	6	138
転貸損失引当金	473	567
長期預り保証金	772	842
長期リース資産減損勘定	317	582
負ののれん	25	40
資産除去債務	2,122	2,124
その他	825	817
<b>負債合計</b>	<b>54,209</b>	<b>54,037</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>70,980</b>	<b>66,516</b>
資本金	6,893	6,893
資本剰余金	7,489	7,489
利益剰余金	60,126	55,160
自己株式	△ 3,528	△ 3,026
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>1,315</b>	<b>521</b>
その他有価証券評価差額金	1,315	521
新株予約権	97	39
<b>少数株主持分</b>	<b>6,264</b>	<b>5,642</b>
<b>純資産合計</b>	<b>78,658</b>	<b>72,719</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>132,868</b>	<b>126,756</b>

**連結損益計算書(要旨)**

科目	当期	前期
	平成24年3月1日から平成25年2月28日まで	平成23年3月1日から平成24年2月29日まで
売上高	150,323	154,086
売上原価	76,882	81,020
売上総利益	73,441	73,066
販売費及び一般管理費	61,124	62,334
営業利益	12,316	10,731
営業外収益	1,992	2,063
営業外費用	1,200	1,455
経常利益	13,108	11,339
特別利益	493	151
特別損失	530	2,622
税金等調整前当期純利益	13,071	8,868
法人税、住民税及び事業税	5,447	3,976
法人税等調整額	△ 489	△ 702
少数株主損益調整前当期純利益	8,113	5,594
少数株主利益	961	754
<b>当期純利益</b>	<b>7,151</b>	<b>4,839</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)**

科目	当期	前期
	平成24年3月1日から平成25年2月28日まで	平成23年3月1日から平成24年2月29日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,917	9,306
投資活動によるキャッシュ・フロー	952	△ 370
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,375	△ 3,064
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,494	5,872
現金及び現金同等物の期首残高	43,355	37,483
現金及び現金同等物の期末残高	51,850	43,355

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

科目	当期	前期
	(平成25年2月28日現在)	(平成24年2月29日現在)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>60,648</b>	<b>55,133</b>
現金及び預金	39,117	32,506
受取手形	0	0
売掛金	1,340	1,402
商品	18,542	19,468
貯蔵品	0	0
前払費用	949	961
繰延税金資産	565	617
未収収益	5	5
短期貸付金	9	9
その他	129	174
貸倒引当金	△ 12	△ 14
<b>固定資産</b>	<b>38,614</b>	<b>39,555</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>8,448</b>	<b>7,384</b>
建物	2,009	2,094
建物附属設備	1,515	1,524
構築物	174	194
車両運搬具	3	3
工具、器具及び備品	433	424
土地	3,775	2,666
リース資産	477	475
建設仮勘定	58	2
<b>無形固定資産</b>	<b>3,491</b>	<b>3,533</b>
借地権	3,357	3,357
商標権	45	64
ソフトウェア	78	110
ソフトウェア仮勘定	8	-
その他	0	1
<b>投資その他の資産</b>	<b>26,674</b>	<b>28,636</b>
投資有価証券	5,641	9,474
関係会社株式	1,223	1,223
出資金	2	2
関係会社長期貸付金	350	350
破産更生債権等	15	18
長期前払費用	338	375
繰延税金資産	2,991	3,347
長期預金	3,500	500
敷金及び保証金	12,634	13,513
店舗賃借仮勘定	62	7
役員に対する保険積立金	149	167
その他	185	94
貸倒引当金	△ 420	△ 438
<b>資産合計</b>	<b>99,263</b>	<b>94,688</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	(平成25年2月28日現在)	(平成24年2月29日現在)
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>25,765</b>	<b>25,277</b>
支払手形	10,199	9,220
買掛金	9,106	9,593
1年内返済予定の長期借入金	200	200
リース債務	236	193
未払金	130	142
未払費用	1,910	1,871
未払法人税等	2,634	2,609
未払消費税等	281	368
預り金	146	135
前受収益	88	93
賞与引当金	487	500
店舗閉鎖損失引当金	36	37
設備関係支払手形	158	99
リース資産減損勘定	44	103
資産除去債務	7	12
その他	95	95
<b>固定負債</b>	<b>10,626</b>	<b>10,357</b>
長期借入金	131	332
リース債務	320	386
退職給付引当金	6,791	6,088
債務保証損失引当金	500	500
転貸損失引当金	231	313
長期預り保証金	572	624
長期前受収益	35	41
長期リース資産減損勘定	69	115
資産除去債務	1,457	1,436
その他	514	518
<b>負債合計</b>	<b>36,391</b>	<b>35,634</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>61,470</b>	<b>58,493</b>
資本金	6,893	6,893
資本剰余金	7,489	7,489
資本準備金	7,486	7,486
その他資本剰余金	2	2
利益剰余金	50,616	47,137
利益準備金	845	845
その他利益剰余金	49,770	46,291
別途積立金	42,000	40,000
繰越利益剰余金	7,770	6,291
自己株式	△ 3,528	△ 3,026
評価・換算差額等	1,314	521
その他有価証券評価差額金	1,314	521
新株予約権	87	39
<b>純資産合計</b>	<b>62,871</b>	<b>59,054</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>99,263</b>	<b>94,688</b>

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成24年3月1日から平成25年2月28日まで	平成23年3月1日から平成24年2月29日まで
売上高	108,330	110,314
売上原価	56,273	58,760
売上総利益	52,057	51,554
販売費及び一般管理費	42,782	43,252
営業利益	9,274	8,301
営業外収益	1,681	1,636
営業外費用	804	1,093
経常利益	10,151	8,845
特別利益	305	94
特別損失	443	1,879
税引前当期純利益	10,012	7,060
法人税、住民税及び事業税	4,380	3,658
法人税等調整額	△ 31	△ 113
<b>当期純利益</b>	<b>5,663</b>	<b>3,515</b>

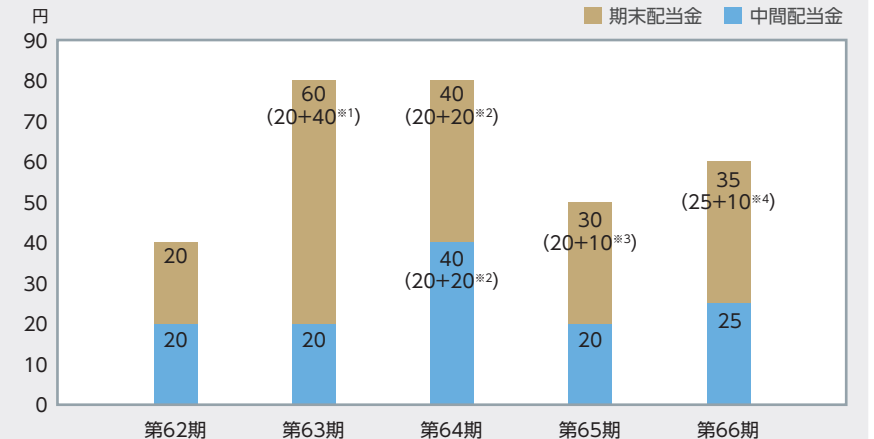
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

◎ 配当の状況

当期の年間配当金につきましては

1株当たり **60円**と  
させていただきます。

- ※1 第63期の期末配当金につきましては普通配当20円に加えまして、上場30周年記念配当の20円、特別配当の20円が加算されております。
- ※2 第64期の中間及び期末配当金につきましては、普通配当20円に加えまして、特別配当20円が加算されております。
- ※3 第65期の期末配当金につきましては、普通配当20円に加えまして、特別配当10円が加算されております。
- ※4 第66期の期末配当金につきましては、普通配当25円に加えまして、特別配当10円が加算されております。



**設立** 昭和23年6月4日  
**発行可能株式総数** 110,150,000株  
**資本金** 6,893,213,650円  
**発行済株式の総数** 41,609,996株  
**主たる事業内容** 靴を主とする小売業  
**従業員** 1,572名

**主要な事業所**

**本社及び地区本部**  
**本社及び関東地区本部** 東京都杉並区成田東4-39-8  
**関西地区本部** 大阪府大阪市浪速区大国2-15-18  
**中部地区本部** 愛知県名古屋市中区社台3-124  
**九州・中四国地区本部** 福岡県福岡市博多区博多駅中央街7-2  
**北海道・東北地区本部** 宮城県仙台市太白区西多賀2-1-7  
**店舗** 新宿店・吉祥寺店など全国1,101店

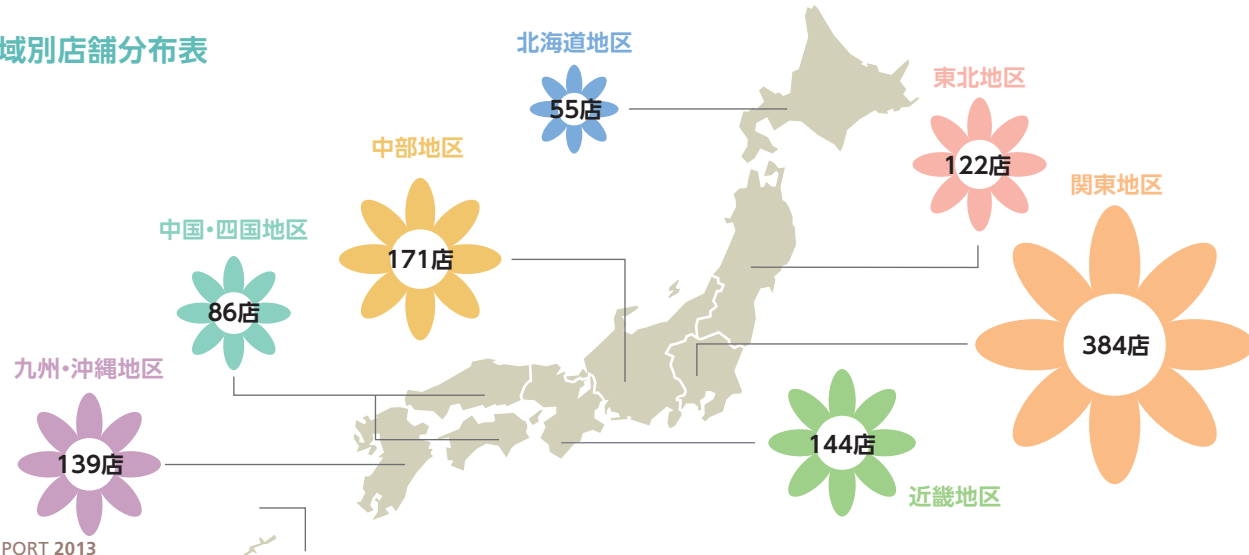
**役員** (平成25年5月23日現在)

**代表取締役会長** 舟橋政男  
**代表取締役社長** 舟橋浩司  
**専務取締役** 田木 敬  
**取締役** 成田 裕  
**取締役** 杉山忠雄  
**取締役** 今田 至  
**取締役** 西堀史郎  
**取締役** 白土 孝  
**常勤監査役(社外)** 庄司孝良  
**監査役(社外)** スコット・キャロン  
**監査役(社外)** 山中雅雄  
**監査役(社外)** 根本孝雄

**当期店舗数の推移**



**地域別店舗分布表**

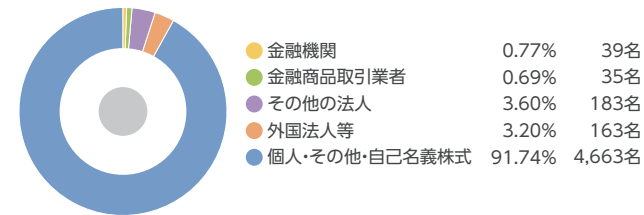


**発行可能株式総数** 110,150,000株  
**発行済株式の総数** 41,609,996株  
**株主数** 5,083名  
**単元株式数** 100株  
**大株主(上位10名)**

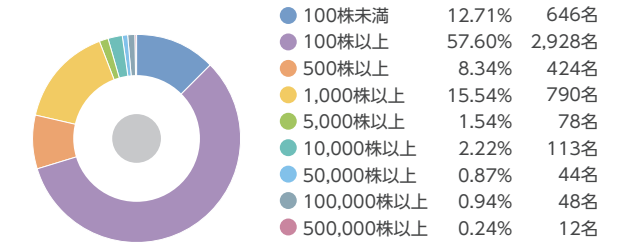
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
いちごトラスト	5,109	12.94
舟橋政男	3,145	7.97
株式会社中央商事	2,998	7.59
舟橋民男	1,901	4.81
チヨダ共栄会	1,749	4.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,513	3.83
有限会社大知	1,400	3.55
株式会社三井住友銀行	1,251	3.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,183	3.00
三菱商事株式会社	872	2.21

(注) 1. 当社は、自己株式を2,126千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
 3. 舟橋民男氏は、平成25年3月9日に逝去されました。

**所有者別分布表**



**所有株数別分布表**



## 株主メモ

事業年度	3月1日～翌年2月末日
期末配当金受領株主 確定日	2月末日
中間配当金受領株主 確定日	8月31日
定時株主総会	毎年5月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.chiyodagr.co.jp/">http://www.chiyodagr.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。)
単元株式数	100株

## 株主優待

毎年8月31日及び2月末日現在の株主名簿に  
記載または記録された1単元(100株)以上を  
保有されている株主様に対し、2割引株主優待  
券を一律5枚贈呈いたします。



### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買  
取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を  
開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることと  
なっております。口座を開設されている証券会社等にお問  
合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)では  
お取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつ  
きましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっており  
ますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀  
行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各  
支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店  
でお支払いいたします。

# Chiyoda

株式会社チヨダ

〒166-8506 東京都杉並区成田東4-39-8 芝萬ビル

TEL 03-3316-4131 FAX 03-3317-2852 URL <http://www.chiyodagr.co.jp/>

UD  
FONT

